

地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ

福井市森田小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	6回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	29人
授業ボランティア（含：低ボラ）	32人
登下校支援ボランティア	3000人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

地域と連携した食育の取組

具体的活動内容

「収穫体験」、「収穫した作物や水産物への理解」、「学校給食で実際に食べる」という学習サイクルを通して、食の重要性への理解を深めていった。

3年生

福井市の「子どもの健康を育む食育推進事業」を利用して大根の収穫を体験した。収穫した大根は、各自が家庭に持ち帰り、親子で大根料理に挑戦した。また、翌日の給食でも全校児童で味わった。献立は、菜飯、鶏肉のさっぱり煮、大根サラダ、けんちん汁である。授業では、食べ物新聞づくりなどを通して、白方の大根や野菜について学習した。

また、福井市豆腐協会の協力を得て、豆腐と厚揚げづくりの実習も行った。福井県は大豆の消費量も多く、特に厚揚げの一人あたりの消費額は日本一である。こうしたことも講師の話で学んだ。



12月14日 収穫感謝祭

4年生

地域の畑を活用して、4年生が畑にサツマイモを植えて育てる体験をした。収穫したサツマイモは、各自家庭に持って帰って調理をした。学校給食でも使った。体験で学習したことは、総合的な学習の時間を使ってまとめている。

5年生

学校田で米づくりの田植えと稲刈りを体験した。収穫した米は給食で使った。12月には、お世話になった方を招待して、収穫感謝祭も行っている。（写真上）また、福井県の地場産水産物普及事業を利用して、福井近海でとれる魚について学び、給食で福井産の魚を味わった。体験を通して学んだことは、総合学習の時間を使って、模造紙にまとめて発表会を行っている。収穫感謝祭の折にも招待者を前に発表している。

成果と課題

本校には、栄養教諭もおり、全学年で食に関する指導を受けている。こうした指導の上に豆腐作りやサツマイモ収穫、米の収穫などの体験活動を積み上げることで、食に関するより深い理解ができてきている。なお、食育に関する授業は体験は、主に総合的な学習の時間を当てているが、これらの活動にあてる時間が年々不足してきている。